

# ESGとは リバランス?

投資家の社会・ガバナンスへの関心の高まり



Michael Baldinger  
サステナブル&イン  
パクト投資責任者

当社のサステナブルの専門家が、ESG(環境・社会・ガバナンス)投資の社会的側面が、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)によってどのように浮き彫りにされたかを考察し、それがESGを取り巻く投資環境のリバランスにどう影響を与えるのかを説明します。

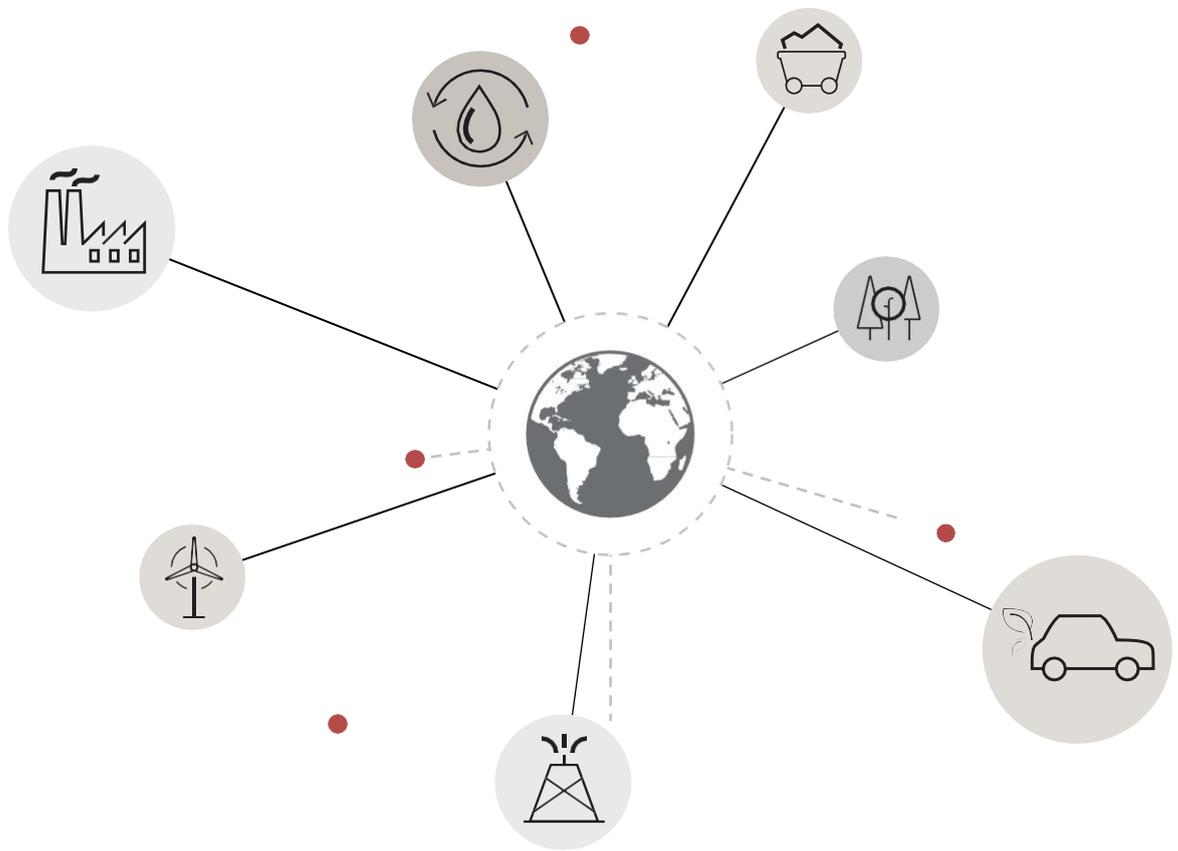
*Michael Baldinger*



Bruno Bertocci  
グローバル・サステ  
ナブル株式チーム  
ヘッド

**コロナ禍が、資本配分の方法にどのような影響を与えたか、また、今後もESGの果たす役割は大きくなると思いますか？**

コロナ危機の余波の中で、サステナブル投資(SI)の傾向はさらに加速すると確信しています。過去数年間、世界最大のアセットオーナーが資本を持続可能性に焦点を当てた投資手法により配分するなど、目覚ましい変革を目にしてきました。パンデミックにより、市場がESGの要素を無視できない運用リサーチの重要な要素として認識しているため、この傾向は強まると見えています。将来、投資家は悪質な企業市民に対し、寛大な対応を見せなくなるでしょう。そうした企業に資金を提供することはコストがかかり、資本が欠損する可能性があるからです。



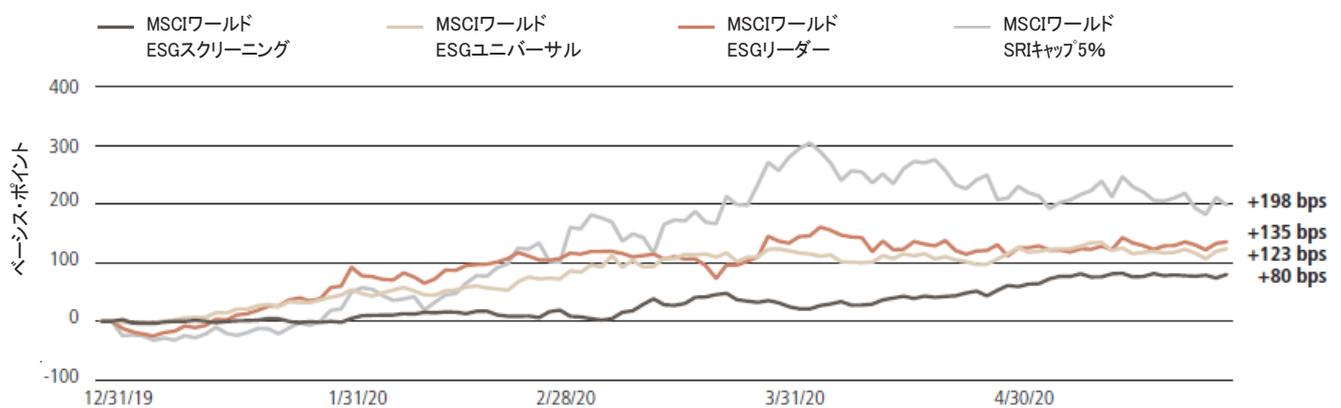
当社はすでに、収益力が優れている企業はESG基準のスコアが高い傾向にあり、長期的に市場平均を上回るパフォーマンスをあげていることを示す十分な証拠を得ています<sup>1</sup>。過去3、5年間で、MSCI SRIグローバル指数やMSCI ワールド指数(ACWI)におけるESG指数が、伝統的な指数を約10%アウトパフォーマンスしています。

MSCI SRIグローバル指数<sup>2</sup>をベースとした過去数ヶ月間の実績により、サステナブル投資家が保有する企業群への需要が急増しています。

**パンデミックの後、ESGの社会的要因やコーポレートガバナンス要因により重点を置くことになるのでしょうか？**

さまざま証拠が、環境上の脅威がこのパンデミックの中心に位置していることを示唆しています。生物多様性の喪失や自然生息地の劣化が、動物/人間の障壁を超えて広がっており、新型コロナウイルスのような人畜共通疾患の増加に寄与しています。また、これらの要因は、気候変動、いまだに緊急の措置が必要とされている広範囲に及ぶ既存の脅威に対する主要な原因ともなっています。

図表12: 米ドル建ての超過リターン(対MSCIワールド・トータルリターン)



出所: MSCI、UBS Asset Management、2020年6月8日現在

<sup>1</sup> Gunnar Friede, Timo Busch & Alexander Bassen (2015) ESGと財務実績: 2000年以上の実証研究、Journal of Sustainable Finance & Investment から分析を集約。  
<sup>2</sup> MSCI Five Lessons for Investors from the COVID-19 Crisis Dimitris Melas, Roman Kouzmenko, Zoltan Nagy, Navneet Kumar 2020年5月

# 現在の状況は大きな変化を加速させているため、サステナブル戦略へのESGデータの統合、アクセスの方法も変更が必要になるとみています。

Bruno Bertocci

このパンデミックにより、社会とガバナンスにおける決定的で重要な役割に対し、関心が高まっています。当社が最も重要と考える保健、食品供給、小売りなどの企業部門での人的資本の重要性は、優れた企業行動と同様に明確になってきています。例えば、問題が発生した場合、企業の緊急時および事業継続計画はどの程度効果的なのか？企業のプロセスはどれくらい厳格であり、困難な時期を通じて企業を支援する従業員はどの程度モチベーションを持っているのか？企業は既存の市場を守り、新たな優先事項や機会に軸足を置くことができるか？などです。

何十年もの間、サステナブル投資家は、これらの問題にアンテナを張り、注視してきました。今や、すべての投資家にとっても必要な作業となり、危機後はさらに重要性を増すと考えます。

現在の状況は大きな変化をもたらすものであり、サステナブル戦略へのESGデータの統合、アクセス方法にも変更が必要になると思われます。最近の環境要因への焦点は、少なくとも短期的には社会的要因により重点を置く必要があるかもしれませんが、長期的にはE、S、Gのウェイトが等しくなるかもしれません。

## パンデミックによって、見方が変化したセクターはどこですか？

どのようなビジネスモデルであっても、レストラン、航空会社、客船、テーマパーク、映画館などは特にそうですが、その他多くの人々と緊密な接点が必要とするため、ビジネスモデルは変化しなければなりません。一方、人間は適応性があり、賢明であるため、これらの問題には解決策があるでしょう。

最大の変化は、非常に効果的に仕事をオフィスから自宅に移したこともかもしれません。このシフトによる好影響は当社でも確認されています。強力なITとサポート体制により、自宅でもオフィスにいるのと同水準の高い生産性や業務へのアクセスが可能となっています。また、通勤を減らすことで、安心でより柔軟に独自のスケジュールを管理できています。

すでに一部の企業では、従業員は少なくとも年末あるいはそれ以上までは在宅勤務になる可能性を示唆しています。当社は、これが何百万平方フィートものオフィス空間を解放するような永続的なトレンドになるかもしれないと考えています。それ自体、不動産セクター、特にオフィスの稼働に長期的な影響を与えるでしょう。

企業の存在意義について、多くの見解が論じられていますが、今後より優先される目的は何ですか？

企業が事業を続けるためには、もちろん利益をあげなければならないと考えています。しかし、戦略的な方向性を持たない企業や、従業員や社会、それを取り巻く環境に配慮しない企業は、成功することはできないでしょう。安心できなければ従業員はオフィスに戻ることに消極的になると考えます。

また、従業員の多くは現時点では職を変えたいとは思っていないかもしれませんが、一方、より魅力的な機会が出現すれば、職の転換が促されるでしょう。

健全で活力のある社会と健全な環境がなければ、経済成長は低く、ビジネス機会は限られてしまいます。コロナ危機はまた、資産運用の社会的目的に光を当てています。つまり、顧客の資産を守り、成長させるだけでなく、投資先企業により責任ある運営を促し、成功に導くような投資家の代表としての強い貢献が求められています。当社は、現在エンゲージメントへの取り組みを強めており、企業の長期的な目的とうまく結びつけること、そして意義のある方法で世界に貢献することを目指しています。

## どのような業種であっても、従来のビジネスモデルは変化が必要になるでしょう。



商号:UBSアセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると判断される情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS2020。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。